

杉浦定期能

令和元年12月14日(土) 午後1時開演 12時15分開場

於 京都観世会館 左京区岡崎円勝寺町44



*入場料 前売券 4,000円 / 当日券 4,500円 / 学生券 2,000円

*お申込み・お問い合わせ

杉浦定期能楽会事務局

Tel/Fax 075-462-2665

E-mail toyo@noh-sugiura.com

URL <http://www.noh-sugiura.com>

京都観世会館

Tel 075-771-6114

杉浦同門宅

出本勝範 (082-221-0095) / 岡田すみ子 (079-222-5362)

金子 昭 (06-6841-2769・akaneko217@tcct.zaq.ne.jp) / 塚本和雄 (0748-48-2629)

戸川瑞穂 (072-433-3825) / 松井美樹 (miki.20030517@gmail.com)

松上公英 (06-6928-5021) / 山田修司 (075-861-3811)

主催

杉浦定期能楽会

番組 (六十九ノ二)

後見・地割

一二時四十五分 能のお話

一時 (能)

里女 金子 昭

怨霊 深草少将 出本勝範

通小町

僧小 林 努

大鼓河村 大 小鼓林 大輝 大 左 鴻 泰 弘

休憩十五分

(仕舞)

和布刈 林 宗一郎

松風 浦田保親

葵上 浦田保浩

阿漕 井上裕久

(狂言)

雁礫

大名 茂山七五三 道通り 茂山宗彦 仲義人 丸石やすし

(仕舞)

通盛 松井美樹

玉鬘 戸川瑞穂

休憩十五分

(能)

尉 杉浦豊彦

遊行柳

遊行上人 岡 充 大鼓谷口正壽 太鼓前川光長 從僧 原 陸 小鼓曾和鼓堂 笛 杉 市和

間 茂山千三郎

附祝言

終了予定五時半頃

松井美樹 浦田親良 戸川瑞穂 松野浩行 塚本和雄 樹下千慧 浦田保親 河村浩太郎 河村浩太郎 橋本光史

河村浩太郎 越賀隆之 山田修司 橋本光史

鈴木 実

松野浩行 河村晴道 橋本擴三郎 深野貴彦

林 宗一郎 金子 昭 浦田親良 深野貴彦 樹下千慧 浦田保浩 松井美樹 河村晴道

通小町

八瀬の里で夏の修行を行っている僧の元に、毎日木の実や薪を持ってくる女がある。僧が素性を尋ねると小野小町の歌を口ずさみ、市原野に住む姥だと言って消え失せる。姥が小野小町の幽霊と察した僧は、市原野に行き小町の跡を弔う。すると小町の霊が現れ僧に授戒を請う。続いて深草少将の怨霊が現れ小町の成仏を妨げる。僧が少将の怨霊に百夜通いの様を見せるよう言うと、裸足で雨の夜も雪の夜も通いながら九十九夜目で死した様を再現して見せ、やがて小町も少将も成仏する。

遊行柳

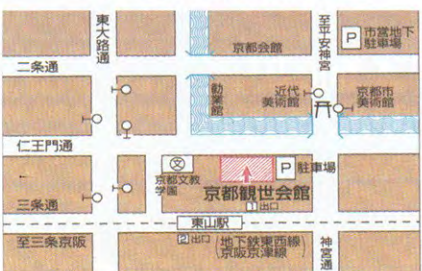
諸国遊行の聖が上総の国(千葉県)から奥州へと志す。白河の関を越え、広い新道を進もうとすると老人が現れ、先の遊行上人が通ったのは小川の側の古道だと言い、そこには朽木の柳と言う名木があると教え、聖を案内する。老人は朽木の柳の名木たる由縁や西行上人の詠んだ歌のことを物語り、聖から十編の念仏を授かると古塚に身を寄せるように消え失せる。聖は所の者からも柳の謂れをききだし、念仏を唱え仮寝をしていると、烏帽子狩衣白髪の、老翁姿の柳の精が姿を現す。そして非情無心の草木までもが成仏できる念仏の功力を讃え、古今和漢の柳にまつわる物語を語り、報謝の舞を心静かに舞う。いつの間にか老翁の姿は消え残るのは朽木の柳ばかりだった。

★次回予告

令和2年3月21日(土) 1時始
能 養 老 金子 昭
能 百 万 松井美樹



京都観世会館案内図



- ◆JR 京都駅より
市バス5・100で「京都会館美術館前」下車
地下鉄「烏丸御池」にて地下鉄東西線乗換「東山駅」下車
- ◆阪急河原町駅より
市バス31・46・201・203で「東山仁王門」下車
- ◆京阪三条駅より
市バス5で「京都会館美術館前」下車、地下鉄東西線で「東山駅」下車
- ◆JR 二条・山科・醍醐方面より
地下鉄東西線で「東山駅」下車
- ◆東隣に有料駐車場がございます